

しゃらくかい 写楽同会

令和3年10月31日 70

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2021 Sharakukai

神無月兼題「島」出題：梵木

写真俳句



1 北国へ旅小春日の島巡り

季語：小春日和（秋）



2 寒いねと秋の列島霜が降る

季語：寒し、霜（冬）
秋（秋）



3 そぞろ寒富士の息吹に江ノ島は

季語：そぞろ寒（秋）

江ノ島と富士山は絵葉書になりますね。



4 島揺らす火山勢い星月夜

季語：星月夜（秋）

ラ・パルマ噴火、人的被害無し、島民は夜には
皮肉に星月をながめているやを想像して。
(ニュース写真)



5 実朝の詠いし小島 秋日和

季語：秋日和（秋）

箱根路を我超えければ伊豆の海や・・・」の歌に
出てくる初島、写真の真中の小さな島です。



6 小春日やゆさりゆさりと盃舟 (たらいぶね)

借画像、季語：小春日（冬）

たらい舟は佐渡島の名物で観光客に人気ですね。



7 水ひいて川瀬の島に彼岸花

季語：彼岸花（秋）

誰かが植えたのでしょうか、雑草の中の彼岸花が
鮮やかでした。



8 滝しぶき川の小島も霧の中

季語：滝しぶき（夏）



9 望月や島影澄みて藍の海

借画像 季語：望月（秋）



島崎藤村「椰子の実」に寄せて

10 ふるさとは夜寒も知らぬ島の椰子

季語：夜寒（秋）



カット写真：梵木

1 秋澄みし能登の端っこ佐渡の見ゆ

季語：秋澄む（秋）

快晴の時には能登の禄剛崎より遥か佐渡島が望めます。

2 秋ふかし郷土の味や島納豆

季語：秋深し（秋）

3 うそ寒や小島の宿の朝の膳

季語：うそ寒（秋）

4 島山を右舷に過ぎて秋の潮

季語：秋の潮（秋）

7月号の千泉さんの俳句カット写真から発想しました。千泉さん、ありがとうございました。

5 江の島のふるさと花火吾娘（あこ）の盆

季語：花火（夏）盆（秋）

6 島豆腐荒縄掛けて神無月

季語：神無月（冬）

7 秋晴るる土産くさやと決めており

季語：秋晴るる（秋）

伊豆七島のお土産は何と言ってもくさやです。

8 台風の来るまえ島に急ぐ船

季語：台風（秋）

定期便らしき船が白波たてて島に向かっていました。

9 秋潮の波音近き鬼ごろし

季語：秋潮（秋）

八丈島の民宿にて飲んだ地焼酎の味が忘れられない。

10 サイパンのバンザイクリフ 夏静か

季語：夏（夏）

戦争中多くの人が身を投げたというバンザイクリフ、今では静かに波が打ち寄せていました。

短歌

準坊 釣り銭に一元玉を貰わぬようポケットの中9円忍ばせ

コーヒーのソーサ持つ指震えだし遂にきたかと老いを感じて

北切雀 島の子ら褪せた写真のその笑顔なほも光りて吾を貫く

ニュージーランドの東、トンガタブ島に長逗留してから半世紀。

川柳

準坊 「あのね」と言い二の句忘れて「まあいいや」

テレビ消す見てたと怒る寝てた妻

自由俳句

陽閑

秋夕の灯りが描くマグリット

季語：秋の夕（秋）

日が短くなり、近隣の窓の明かりがマグリットの絵と重なりうっとり。

北切雀

日のあたる窓のガラスに秋の蠅

季語：秋の蠅（秋）

叩くのをためらう。

唐黍を刈りて菜園冬支度

季語：冬支度（秋）

何十種類もの作物を育てている友人。その見事な家庭菜園も今年の収穫を終える。

**写真投稿**

iSAMU



蒲の穂



入笠山の竜胆と沢桔梗

北切雀 令和3年 第31回伊藤園おーいお茶俳句コンクール「新俳句フォトの部」の大賞作品です。



レモンかむ母の助言を裏切って

鳴井柚紀（季語：檸檬）

この句には晩秋の季語が使われていますが、新俳句は金子兜太氏に代表される、季語にこだわらない、季語がなくてもいい俳句です。

令和3年9月「野分または嵐」（出題：昼寝覚）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

写真俳句 投票数：34

一席 台風目のの中に居る夕餉かな 池福楼（8票） 季語：台風（秋）

<< 一瞬の静寂のひと時、準備したおにぎりを頬張る。>>



- * 作者コメを読むと、戦慄の碧眼と心丈夫なおにぎりとの対比がいいと思うのですが、「夕餉」だとそれがあまり伝わらず損しているのでは？はっきりと「おにぎり」を入れた方が良かったような？
- * 台風通過中に急いでおにぎりで夕餉、準備万端ですね。
- * 台風目のの中に入ると本当に静からしいですね。
- * 本当に目の中は静かなんですよね。
- * 台風目の目は青空で、束の間の穏やかさを感じます。
- * こんな天候の中おにぎり持って外に出て渾身の作品を撮ろうとする根性と勇気立派、そしてスゴイ写真！！

佳作（令和3年9月号掲載順）



野分ゆく梢をなぶり雲を撃ち 北切雀 季語：野分（秋）

- * 「なぶり」「撃ち」と言う台風に対してバイオレンスの言い回し見事です。
- * 風の音が聞こえそう。



滝しぶき吹き上げ散りぬ野分かな 久芽 季語：野分（秋）

<< 飛沫が強風に吹き上げられていました。>>

- * ??? 脅威、恐怖より美しさ???
- * 雲散霧消とはこのこと。滝の水が下まで届かない。
- * 写真と字のバランスが素敵です。
- * 滝の飛沫も風に舞って雄大です。
- * 息を飲むほど、美しい光景ですね。



竹林を揺さぶり起こす野分かな 準坊 季語：野分（秋）

<< 静謐な竹林も野分に起こされざわつき始め・・・>>

- * しなやかな竹の美しさの写真と風の力を表現した句。
- * 強風に耐える竹林に愛おしさを込めて。
- * 竹林が大風に揺れている様子がよく出ています。
- * ザワザワ聞こえています。
- * 竹林のざわめきが聞こえてくるようです。



猫顔もぷっと笑って野分あと 陽閑 季語：野分（秋）

- * 猫も暴れたのでしょうか、野分のあとのように穏やか？
- * 美猫の笑顔が全てを語る。
- * 野分が去って猫一安心。
- * ほっとして、気持ちよく昼寝でしょうか。
- * かわいーい！！とにかくかわいいし笑える。よくこんなショットとれたなあって感心しました。猫のリラックスしきった姿が、なんだか野分の緊張が過ぎ去って安心と疲れが出た人間に思えます。

- * 陽射しの中で安らぎのひとつですね。嵐の時 鳥や野良暮らしの猫たちは どこで雨風を凌いでいるのか 気に掛かります。
- * 猫の恐怖から変わり、安堵した表情の面白さ。句もユーモアたっぷり。不思議な遠近感の画像とともに和みますね。



雲走り波砕け散る初嵐 昼寝覚 季語：初嵐（秋）

<< 大風に海も荒れていました。遠くの島は伊豆の大島です。>>

- * 白い歯を見せる荒波もきれいな模様になるのですね。
- * 大海原に秋の訪れを知る季語ですね。



強い風ガラス戸たたく嵐くん 梵木 無季

- * 草木の動きの写真の中でも、このブレを使った写真が強風を一番よく表現していると思いました。上から目線か親しみか、嵐を君づけで捉えた句もユニーク。
- * 無季ながら画像と句の直球の表現の中に「嵐くん」という擬人化が面白く、大げさに言えば災害大国日本の余裕を感じる。



野分去り明けて見遣れば柳瀬川 iSAMU 季語：野分（秋）

- * 馴染みの川がいつもと全く違う顔を見せる。
- * 昔はドブ川のようにだった柳瀬川。随分と綺麗になったようですね。

大ぶりのすすきなぎ打つ嵐かな



大ぶりのすすきなぎ打つ嵐かな 千泉 季語：すすき（秋）

<< 一面のすすきが一齐に動く様子は見応えがありました。>>

- * ススキはイギリスではあまり見かけないのですが、近年、装飾性が注目され、園芸番組にも登場するようになりました。
- * ススキたちの集団舞踊とみれば違う趣があります。
- * 「すすきなぎ打つ」写真とマッチした表現ですね。

俳句 投票数：30



撮影：昼寝覚

<< 大風に汐が巻き上がっている写真です。>>

一席

星屑の輝き増して野分あと 準坊（7票）

季語：野分（秋）

<< 強風の後には星の輝きも一層増しますね。>>

- * 強風雨で大気のチリ・ホコリも運び去ってくれる。
- * 全てを吹き飛ばした野分のあと、星空は綺麗ですね。
- * 同感。
- * そうそう、空気が綺麗になった感じ。
- * 澄んだ空気の中きらめく星空が目に見えびます。
- * ホコリや塵も一掃。

佳作（令和3年9月号掲載順）

かの嵐吾子 逝きし夜の天地泣く マム

無季

- * 慟哭の句。
- * 遺された人の号泣のような嵐の激しさ。まるで空が悲しみに悶えているようです。

野分去り朝日大きく輝けり 千泉

季語：野分（秋）

<< 写真俳句にするかどうか迷いました。>>

- * 中七「大きく」輝くというのがいい。
- * 嵐の過ぎ去った翌朝は大気が澄み切って太陽の輝きも違いますね。
- * 朝の台風一過の爽やかさ。
- * 嵐のあとの太陽は格別。

雨多い秋の嵐だ風強し 梵木

季語：秋嵐（秋）

- * 気象予報のようなストレートな句。テンポが良い。

北海へ嵐の抜けて秋日差 北切雀

季語：秋日差し（秋）

- * 台風は多くが日本列島を縦断する。そして被害が起こる。
- * 嵐去って日差し 素直な句ですね。
- * 台風一過の秋の晴天ですね。

台風来 過ぎたる雨風ないことを 昼寝覚

季語：台風（秋）

- * 本当に台風のシーズンに誰もが願う心を代弁してくれていて、頷くばかりです。
- * 台風への祈りがそのまま句になりましたね。
- * 災害列島の宿命か。被害の少ないことを神仏に祈る。

猛り狂う雨風いずこ虫時雨 池福楼

季語：虫時雨（秋）

<< 台風一過、季節は一転して秋たけなわに。>>

- * 時の変化は早いですね。
- * 過ぎ去ってみれば、あれはなんだったんだろうと思うばかりの天候の対比がよく表現されてますね。
- * 虫時雨、いい季語ですね。
- * 台風一過の様子を音で表現しています。
- * ちょうど今の季節にぴったりの句です。

呼び声の吹き戻されて野分中 久芽

季語：野分（秋）

<< 強い向かい風に声が吹き戻されます、相手には届いてくれない。>>

- * イギリス、ヨークシャーの荒野を彷彿とさせる句。
- * TV中継の実況アナウンサーが風雨に耐え、懸命に伝える姿を想像する。
- * 情景が浮かびます。
- * 大風の中ではよく経験することですね。

秋乱後（しゅうらんご） クリスピー空、際立つ木 陽閑

無季

<< ポプラの木。>>

- * 英語ではきっぱり晴れ上がった空（特に冬）を「クリスピー」と表現しますが、ちょっと日本の方々には伝わりにくかったのでは。
- * 「秋乱」とは季語には無いようですが、なかなか含蓄のある言葉ですね。

短歌**準坊 テレビから聞きたい歌が流れても一緒に歌う妻邪魔になり**

- * まあそう言わず。長いお付き合いでしょう、一緒に。

川柳**準坊 金メダル がぶり齧られ 菌メダル**

<< 名古屋市長の暴挙にはびっくり。>>

- * 上手い。座布団 三枚！！。

明かりなど何処にも見えず目を醒ませ！

<< コロナ禍から脱出の明かりが見えてきたと某総理。>>

写真いいね!

滝しぶき吹き上げ散りぬ野分かな 久芽

投票者：NGさん

この写真で一句

7月～9月兼題写真「道標」



出題：久芽

日本の最北端宗谷岬で撮った写真です。

(到着順)

北切雀 蛤になれる地さがす雀かな

季語：雀蛤となる（秋）

<< いつか使いたいと思っていたこの季語。兼題のおかげでやっとなんとか。 >>

* 良い句ですね。面白い季語をご存知ですね。中国の言い伝えだそうで、夏目漱石も「蛤とならざるをいたみ菊の露」と詠んでいるようです。

爽籟 (そうらい) の中に佇む道しるべ

季語：爽籟（秋）

* 写真は宗谷岬の道標。ここからロシアなどに飛び立つ渡り鳥の姿を思い浮かべます。

昼寝覚 コロナ禍や 夢にて行かん夏の島

季語：夏（夏）

<< 沖縄やフィリピン、行ってみたいものです。 >>

* 写真やこのコメントから数十年前に仲間と連れ立って南国フィリピンに旅したことが思い出されます。

- 準坊 **サハリンの雪山を指す道標** 季語：雪山（冬）
 * 日本最北端のこの岬からはサハリンまで海を隔ててすぐそこに。この蝦夷と言われた地を訪ねてみたい。
- 北天にまた巡り来る碓星**（いかりぼし） 碓星（カシオペア）＝秋
 << 秋になるとカシオペア座が見えてきます。季節の道標です。>>
 * 星や星座の和名をもっと知りたいです。
- おこ **道標（どうひょう）は 要るか要らぬか 雲の峰** 季語：雲の峰（夏）
 * 雄大な入道雲はどこへ行くのか？道標の通りにはたどり着かない人生のようなもの。
- 道標（どうひょう）のなき径（みち）行けば 草いきれ** 季語：草いきれ（夏）
 * 額に汗の夏ウォーキング。命の盛りをぶつけてくる草を感じます。
- 池福楼 **人生の岐路に再び戻れたら** 無季
 * 人生を折り返してみれば後悔もいくつか。でも結局は同じ地点に戻る？
- 久芽 **金木犀香り漂う道しるべ** 季語：金木犀（秋）
 * 香の道しるべとは素敵ですが、視覚障害者には安全がかかっている道しるべかも。
 * 突然に漂う金木犀の香りから秋本番を迎える。道しるべとともにこの香りが旅愁を誘います。
- 千泉 **旅誘う秋空うれし道しるべ** 季語：秋の空（秋）
 << 色々な地名が書かれているのを見て楽しくなりました。>>
 * 道標には知らない土地やかつて旅した国、行ってみたい国、想像するだけでも楽しい。
 * あれこれ雑事で追われる日常。一葉の写真にさえ楽しみを見出す心がけは見習いたいです。
- マム **道しるべ選ぶ道読めぬ老ドライブ** 無季
 * 地名というのは難解なものが多い。北海道では長万部、忍路（おしよろ）、茨戸（ばらと）、
 簾舞（みすまい）、発寒（はっさむ）etc。
- 陽閑 **道標のうえ飛ぶ鳥の空たかし** 季語：空たかし（秋）
 * 鳥は自由にどこへでも飛んで行ける。作者の願望が表れています。

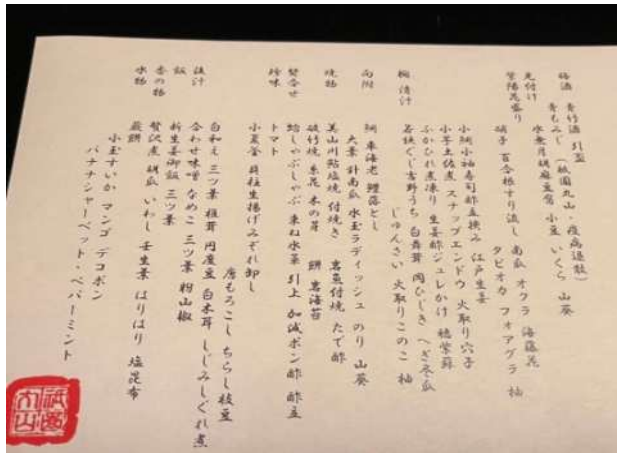
自由俳句

- 北切雀 **朝寒や靴下かさね立つ厨（くりや）** 季語：朝寒（秋）
 * 暖房のあまり無い昔の台所で寒い朝、菜を刻む包丁の音を暖かい寝床で聞いていたことを思い出す。

令和4年1月からの「写楽句会」

8月号で「編集の継続者がいらっしやらない場合、写楽句会は本年12月号で終了」とお報せしましたが、皆様から、継続希望の強いお声が寄せられました。誠にありがたく励まされ大幅縮小となりますが、令和4年以降も継続する方向で検討を始めました。新しい写楽句会の概要は別途eメールにてお知らせいたします。

- * 霜月11月兼題はマムさんから「コーヒー、紅茶」、師走12月は陽関さんから「プレゼント」と出ています。ただし12月の全作品、投票対象外となります。
 - * 令和3年神無月10月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
 - * また特にいいと思われた写俳、俳句各1作品に持ち票2票ずつを投票されても結構です。
 - * 句とは別に写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
 - * 作者名が入った作品は投票対象外です。
 - * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。写真、短歌、川柳、自由俳句も大歓迎です。
 - * 10月号への投票11月号作品への投句、投稿の締め切りはともに11月20日です。
 - * 読者さんからの写真や句の投稿もお待ちしています。
- * 「この写真で一句」
1. 兼題写真から自由に発想して「俳句」を詠んで下さい。季節は問いません。
 2. 川柳、短歌と同様に投稿は自由です。
 3. 作品は記名で投票の対象外となります。
 4. 10月、11月の兼題写真は読者NGさんからの「おしながき」で、締め切りは**11月20日**です。
1ヶ月早い締め切り、発表となりますので、ご注意ください。



おしながき

撮影：読者NGさん

写楽句会 連絡先： kinuko_thompson@hotmail.com
 写楽句会： <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
 四季の森空間： <https://isamusouma.web.fc2.com/>